

会議録

会 議 名	平成 27 年度 生路児童館運営委員会
開 催 日 時	平成 28 年1月 26 日(火) 午前 10 時～11 時 35 分
開 催 場 所	生路児童館 図書室
出 席 者	生路区長、主任児童委員民生・児童委員、交通指導員、生路子ども会会長、母親クラブ会長、児童クラブ保護者代表 事務局・・・児童課長、指導保育士、課長補佐兼保育係長、児童課主事、生路児童館館長
議 題	平成 27 年度児童館活動状況報告・平成 28 年度活動計画説明
非公開の理由	
概 要	1. 挨拶 (事務局) ・地域の関係者の皆様には、日頃より児童館活動への御理解と御協力をいただいております、地域の方の支援があつて児童館が成り立っている。 ・平成 27 年度より子ども子育て支援法がスタートした。子どもたちが育っていくうえで児童館と地域の方々との連携が重要となりますので、今後ともご支援をお願いしたい。 (生路区長) ・来年度、児童クラブの人数が増えるということで、コミュニティセンターの一室を利用すると聞いた。コミュニティセンターも他の利用者もいるので静かな過ごし方をして欲しい。隣同士の施設なので協力して行っていきたい。 *参加者の自己紹介 2 議題 (1) 平成 27 年度児童館活動状況について (2) 平成 28 年度児童館活動計画について (3) その他 館長から資料に沿って説明後、質疑応答及び意見交換を行う。 (委員) ・小さいお子さんがいる家庭が増えてきている。同居の方が少なく、地方からきていて知り合いもいない人が多いので児童館に足を運んだ方には、児童館の場を通じて地域の方と繋げてもらえる役目をしてほしい。 ・よその地域から生路に住む人が増えてきた。生路の施設や地

	区のことを知らない人が多いので、歩いて地理を知ってほしい ・今年度始めには、入会の人が多く伸びが悪かった。現在、55名の会員数で今月の入会者もいたが、残り2か月半しかないので入会金もったいない。もっと早くに入会していれば入会金が有効に活かされるのではと思った。 ・赤ちゃん健診の時に親子に関わる人が多い。健診の時に、もっと児童館のPRをするといいのではと思う。 ・生路地区の加入者は小学校教育生数の3割を切っている。大人の意見で子供会に入らない人が増えている。昔に比べ、役員の数も減り、役員個々の負担が多くなっている。今年度は、コミュニティの方にも助けて頂き、少人数でやれることをやってきた。 ・子どもたちの言葉使いや態度が悪く、気になる。児童館に、お年寄りや地域の人等がもっと加わることで子どもたちも大人に対する態度が変わるのではと思う。児童クラブの学年引き揚げには、高学年の希望者もたくさんいるのか。児童館は地域にとっていろいろな人が育つ場であってほしいと思っている。 ・来年度より児童クラブが4年生までになって、仕事が安心して続けられる。名古屋に勤めているが名古屋の方だと6年生までなので今後の児童クラブに期待したい。 ・児童クラブでは家庭でなかなか経験できないことをさせて頂きありがたい。子どもたちも児童館が大好きである。児童館の先生方に感謝している。 (事務局) 来年度より“ブックスタート”を開始する。健診時に保護者に券を渡し、児童館や図書館などで配布できるようにしていく。引きこもりの家庭が増えてきているので、外に足を運んでもらえるよう、健診時に児童館のPR・母親クラブのPRができるといいと考えている。 平成25年度に町の小学生の家庭を対象にアンケートを取ったところ、高学年でも児童課クラブを利用したい人が数パーセントだが出た。 今後、児童の減少とともに、小学校の空き教室を利用して学校へと児童クラブを移行していきたいと考えている。 児童館長 ・いろいろ貴重なご意見をいただきありがとうございます。これからも地域の中の児童館として運営していきたいと思ひます。
備考	欠席3名